

【INDUSTRIAL ROPE ACCESS TRADE ASSOCIATION】



IRATAとは産業用ロープアクセス協会の略称です。
国際安全ガイドラインの指針を策定し世界に普及しています。
労働災害防止を目的に厳格な管理の下、資格認定を行う世界最大の
業界団体です。世界50か国、約7万人の技術者が活躍しています。



IRATAはロープアクセスのISO22846に完全準拠し、その要件を唯一満たす資格です。
ワーキングラインとセーフティラインの2本のロープを使用し、多重安全システムを運用します。
KYT・リスクアセスメントによる徹底した安全管理を行います。
海外（EU）でのロープアクセス業務はIRATA資格取得を条件としている場合が多く、
建設業、石油プラント、風力発電ファーム、橋梁、船舶など、あらゆる分野でIRATAは採用されて
います。

※写真提供及びIRATA取得はコチラ↓↓↓
トース株式会社 <http://www.ropclimbing.jp>

< IRATA国際資格検定 >

専用施設で4～5日間のトレーニングを行い、第三者による技術認定を行います。
ロープの下降だけではなく、登高、ロープの乗り移り、倍力システム、レスキュー等、
特殊な技術をトレーニングで学びます。
3年に一度の資格更新となり、最新の安全な技術を常に更新します。
特殊な高所作業環境での緊急事態に即応するため、1対1のレスキューを全員が習得し、
共通の技術、共通の安全意識を共有します。

- LEVEL1) 作業員コース
基本テクニック、マンツーマン基本レスキュー

- LEVEL2) 作業指揮者コース
応用テクニック、応用レスキュー

- LEVEL3) 安全管理者コース)
施工計画、レスキュー計画、チームレスキュー



< 日本国内法との関係 >

2016年1月に労働安全衛生規則に「ロープ高所作業」が規定されました。
事業者は労働者にロープ高所作業特別教育を受けさせる義務があります。

安衛則539条の2)
ロープ高所作業を行うときは、身体保持器具を取り付けた「メインロープ」以外に
安全帯を取り付けるための「ライフライン」を設けなければならない。

IRATAでも2ロープは標準仕様です。
IRATAは、EUの安全基準のEN規格認証（産業用）の器具のみを使用し、
山岳レジャーの器具は不安全なため原則使用しません。